



令和元年度は、9月の台風、3月の新型コロナウイルス感染拡大など自然災害が多い1年でした。3月に予定していた森まつりも延期することになり、準備を始めていた子ども達にとっても残念な春休みになりました。改めて自然の力を身近に感じ、開催を通して様々な人と繋がっていることを実感しました。

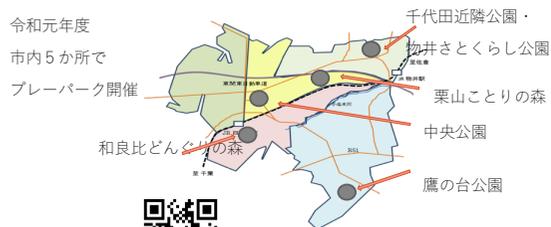
今年度は市内5カ所のプレーパーク開催に加え、児童センターへの出張プレーパーク実施や子育て支援センター団体参加、小学校サマースクールの協力など、子どもの育ちを組織を超えて支援することに繋がりました。また、今年度からいよいよ若者支援事業を開始しました。どんぐりの森で育った子は中高生、そして青年に育ち、社会に出ていく中で時に立ち止まり、時々どんぐりの森を思い出してはおしゃべりに来ます。社会に出て誰でも居場所が必要です。そんな若者が安心して夜までゆっくりできるフリースペースや、自分たちで企画し、試してみる若者企画に取り組んでいます。

和良比はだか祭りの御神田での米作りもその一つです。苗を植え、育て、そして稲刈り、餅つきまで子どもと一緒に大人もチャレンジ。手探りの米作りに、地域の方も思わず声をかけてくれ、応援し励ましてくれました。

そして、今年は改めて遊び場の中での危機管理や道具の使い方、プレーパークで大事にしたいことなどを見直しました。道具の使い方をわかりやすく描いた看板や、初めての人もプレーパークがどんな場なのかを知ってもらうためのリーフレットを作りました。「自分の責任で自由に遊ぶ」ことの実践につなげたいと考えます。

プレーパークの開催に欠かせないのは地域のネットワークです。1年間の開催を支えていただきありがとうございます。

自然の前には子どもも大人も無力ですが、それでも子ども達は遊びながら育ち、大人はそれぞれのお互いの思いを感じながら暮らしていきます。そんな場を今後も継続していけますように。



令和元年度  
市内5カ所で  
プレーパーク開催



## 1.今年度の活動報告 (1)プレーパーク事業

①プレーパークの開催 定期開催を年間165日、延べ7253人の参加がありました。  
※台風被害や新型コロナウイルスのため、開催できない日が多くありました。



どんぐりの森



中央公園

さとくらし公園

鷹の台公園

栗山ことりの森

**☆どんぐりの森** (毎週月曜、金曜、第1・3土曜に開催。第1・3土曜は若者の野外の居場所として開催。) 昨年度より電気/水道が日常的に使用出来るようになり、パソコンを使って振り返りの報告を作成しています。参加者と一緒に調理をする『Mori's kitchen』が新たに始まりました。小学生の常連も増え、定番の遊び以外には卓球やバドミントン、鬼ごっこなどで体を動かし、乳幼児から中高生まで、異年齢が交わりながら遊んでいます。時には参加者のお母さんとの雑談で心を落ち着かせ、幅広い年齢層からの信頼関係と安心して過ごせる居場所となっています。乳幼児親子イベント「もりのわ」、季節の行事、ペーゴマ大会、など年齢に合わせた企画も実施し、「もりのわ」ではどんぐりの森までの道をおしゃべりしながら歩くのが新規の方の安心となりました。

**☆中央公園** (毎月第1木曜 4月~12月) 昨年度から引き続き道路沿いの場所で開催。下校中の中央小の子ども達や先生へプレーパークの存在をアピール。地域のサポーターの協力が欠かせません。

**☆さとくらし公園** (毎月第2木曜 4月~12月、3月) 新築住宅が更に増え小学生の利用が特に多い地域です。保育園の支援センターとのコラボも続いています。午前も午後もプレーパーク目当てに遊び来る参加者で賑わっています。

**☆ことりの森** (毎月第3木曜 放課後、通年) 小学校低学年の利用が多く、仲が良くアットホームな雰囲気です。穴掘りや木工、林の木を使ったのロープ遊具が人気です。室内の

**☆鷹の台公園** (毎月第4木曜 4月~12月、3月) 乳幼児の減少から午前中の参加が少なくなり長期休み以外は午後開催で実施。隣接する御成台プレーパークや鷹の台自治会、鷹の台の民生委員さんとの連携も図れています。